

## 5 スケジュール

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4・5年度 (2022・2023)	令和6・7年度 (2024・2025)	令和8年度 (2026)
		<b>準備期</b>	<b>全面实施</b>	<b>発展期</b>	<b>将来目標</b>
当該年度の目標	ICTを活用した授業の実証研究	全ての学校でICTを活用した授業に取り組む	全ての教員がICTを活用した授業に取り組む	ICTで得られた情報を学習に最大限活用する	個別最適な学びの実現
【施策1】 ICTを活用した授業の実施・優良事例の蓄積・指導モデルの構築	ICTを活用した授業の研究・実践		ICTを活用した授業の定着・発展		各教科で優れた教材・教育ソフトを活用した高水準の授業を効果的に実施し、子どもたちが楽しく主体的に学ぶことができる。
		優れた教材・事例の蓄積・共有	スタディログ・AIドリル等の研究	スタディログ・AIドリル等の実践	
【施策2】 遠隔による多様な人との交流・教育の実施	中山間地校とALTとの授業の実践研究	中山間地と市街地校との合同授業の試行・実施			遠隔システムを活用して、多様な人と対話・交流し、子どもたちが新たな世界に触れることができる。
			専門家との遠隔学習の実施		
【施策3】 困難を抱える子どもへのICTを活用した授業の実施	小中一貫モデル校における実践研究	小中一貫グループ校での授業の試行		小中一貫グループ校での授業の実施	児童生徒一人一人の特性や学習進度等に応じた学びができる。
【施策3】 困難を抱える子どもへのICTを活用した授業の実施	デイジー教科書の利用	特別支援対象児童のための実践研究	特別支援学級への活用の試行・活用の拡大		児童生徒一人一人の特性や学習進度等に応じた学びができる。
		別室登校の子どものための実践研究・活用の試行	不登校の子どもへの活用の拡大		
	既存のパッケージから選定	既存のパッケージ活用	日本語指導が必要な子どもへ発展的なシステムの活用		
【施策4】 ICTを活用できる教員の育成		情報教育支援室の設置			各学校の各教科でICTを活用した授業を行い、児童生徒一人一人の学習状況の記録により、授業の評価や振り返り指導ができる。
			支援室職員による学校訪問・課題整理	指導資料作成・普及啓発	
【施策5】 地元大学との連携によるアドバイザーボードの設置		ICT支援員の配置			
	市内研修リーダーの育成				
【施策5】 地元大学との連携によるアドバイザーボードの設置	校内指導体制の設計	校内中核リーダーの育成	校内中核リーダーの全校配置		
	授業で活用する方法の研修	遠隔教育を活用する方法の研修	特別支援学級、別室登校への活用方法の研修	スタディログ・AIドリル等の活用研修	
	アドバイザーボードメンバー選	アドバイザーボード設置	スタディログ・AIドリル選定基準作成	スタディログ・AIドリル等の活用研究	
【施策6】 ICTを活用できる教育環境の整備	ネットワーク環境を全小中学校普通教室に整備	ネットワーク環境の強化			児童生徒一人一人が、学習で端末を円滑に使用することができ、教員一人一人が、ICT機器を活用することができる。
		指導者用端末配備	持ち帰り実証研究	家庭学習への活用	
	小4～中3に端末配備	小3に端末配備	小1・2に端末配備		
			1人1台端末の全面实施		